

登録コード	L2991100	開講年度	2026				
担当教員	人文学部学務委員			副担当			
授業科目	博物館実習Ⅲ						
英文授業名	Museum Practice III						
授業タイトル							
単位数	1	対象学生	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以降カリ対象】領域横断的な事柄に対する問題解決能力および創造的な企画構想能力			⇔	人類の知を継承し、それらの成果の上に立って未来について創造的に考えられる能力を養う。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	人類の知を継承し、それらの成果の上に立って未来について創造的に考えられる能力を養う。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	人類の知を継承し、それらの成果の上に立って未来について創造的に考えられる能力を養う。		
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	人類の知を継承し、それらの成果の上に立って未来について創造的に考えられる能力を養う。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	受講生は博物館実習Ⅱ前半において必要事項の自己点検と再確認を経た後、希望する博物館において資料の取り扱いや展示などの館園実習を行う。なお、この科目は、館園実習の事前・事後教育を目的とする学内講義科目である博物館実習Ⅱと連動している。						
授業計画	博物館・美術館における館園実習（30時間～45時間）						
成績評価の方法	実習記録、実習博物館の評価による総合評価（3：7）。						
成績評価の基準	・実習自体への取り組み ・実習に基づく報告書と発表 上記の点について、実習に主体的に取り組んでいれば「水準にある」。さらに、課題の発見・検討に意欲的であれば「やや上にある」。これらを踏まえた上で、実習に対し十分な報告と分析ができれば「かなり上にある」。加えて博物館・美術館の現状や課題を総合的に分析し、自身の意見が展開できれば「卓越している」。						
事前事後学習の内容	実習にかかわるリサーチはもちろんのこと、授業外でも積極的に博物館や美術館等に赴き、鑑賞の経験値を高めることが求められる。						
履修上の注意	この科目を履修するには、3年次終了までに、「博物館概論」「生涯学習概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館情報・メディア論」「博物館教育論」「博物館実習Ⅰ」の単位をすべて修得し、かつ4年次にこの科目と平行して「博物館実習Ⅱ」を履修していなければならない。						
質問、相談への対応	学務係（ jgakumu1@shinshu-u.ac.jp ）へお問合せください。						
教科書	「実習記録」（博物館実習Ⅱで配布）						
参考書	適宜指示する。						